

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地臣一
編集委員
荻野利彦
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

国会では平成 23 年度予算案審議が始まった。本号が発刊する頃には一応決着しているものと思われるが、予算関連法案の成立は不透明である。国は税収より大きな国債を発行して戦後最大規模の予算案により景気回復を図ろうとしている。しかし、来年度末には国の負債総額が何と 997 兆円まで膨らむと予想されている。これは国民一人当たり 783 万円の借金に相当する。そのほとんどは国債であるが、日本の長期国債格付けが AA から AA マイナスへと 1 ランク格下げされた。タンス預金を含め貯蓄大国である日本の総資産は 1200 兆円程度？と言われていているが、間もなく借金が上回る時期がやって来る。今は国債の 95% を国内で保有しているが、これが買え支えられなくなった時こそ「財政破綻—日本経済の終焉」である。イギリスでも国民の反対は強いが政治主導で本格的財政再建に取り組み始めている。国の GDP も中国に抜かれ世界第 3 位へ、そして一人当たりの GDP も 2000 年時 3 位から 2008 年には 23 位へと急下降している。国際競争力も 1990 年時 1 位から 2010 年には 27 位に、そして電化製品も液晶パネル世界シェア 1995 年時 100% が 2005 年には 10% まで下落している。こんな状況下にある日本の今後は…、簡単に消費税率引き上げだけでは済まないだろう。この景気低迷、財政難に加えて、人口動態では世界に類を見ない超高齢、少子高齢化が進んでいる。現在の高齢者比率は 23% を超え、75 歳以上も 11.3% と東京都の人口と同じである。2050 年にはそれぞれ 40%、27% という数値が示されている。これにより、高齢者一人を支える働き手は現在の 3 人から 1.2 人と、マンツーマンで支える時代を迎えるのである。そして、今世紀末にも日本の総人口は半減するそうである。何とも辛い数値である。その上、鳥インフルエンザや口蹄疫問題、霧島新燃岳の爆発的噴火、昨夏の猛暑とそれから予想される大規模スギ花粉発生や今冬の大雪などの環境問題、加えて核やテロの脅威と北朝鮮・中国などとの国際問題、…等々、国民が内向き思考になるのも無理はない。

医療に目を向けても、世界に誇れる国民皆保険制度や年金制度も財政面で大きな危機を迎えている。高齢者医療をどうするのか、そして医師不足、地域医療・救急医療の崩壊、厚労省からは看護師も 5 万 6 千人不足と報じられている。日本の総医療費は現在約 35 兆円弱、これに介護保険が 8 兆円弱とされている。消費税率 1% の引き上げで 2~2.5 兆円の増収が見込まれるが、すべて医療費だけに投入することもできない。さて、本当にどうする！ 長寿国日本の医療を…。

そんな中、元氣の出る話題が本号の「視座」に本誌の前編集委員である富田勝郎先生から届いた。「足腰丈夫で“にこにこ百歳！”めざす、若返りプロジェクトのキーは？」、何とも元氣の出るメッセージである。「ロコモとメタボ克服で元氣に百歳」と言うことである。そして、先生のように常に「前向きな気持ち」を持つことであろう。昨年の第 83 回回生会総会の四宮謙一会長からも「人間百歳の時代」がアピールされた。日本人の平均寿命(2009 年)は男性 79.59 歳、女性 86.44 歳で、男女とも前年度より 0.3~0.4 歳延長している。癌をコントロールできる時代が来ると、間違いなく「人間百歳の時代」が訪れるであろう。明るく、元氣で、生き生きとした高齢社会、つまり躍動型高齢社会の構築には「足腰丈夫+気持ち前向き」が必要条件であり、整形外科の役割、責任は大きい。そのためには、私も整形外科医が運動器の重要性を国民に強くアピールできるよう日頃から運動療法を自ら実践していく必要がある。また、世界に向けて発信できる躍動型高齢社会構築のための運動器に関する長期的縦断的大規模臨床研究を今から企画し推進していくことも必要である。是非とも、富田先生には 35 年後の百歳時にもう一度本誌「視座」に「にこにこ百歳達成！—我が人生百年を振り返って(仮題)」のタイトルで再投稿をお願いしたい。

さて、本号には骨折に関する調査報告から腰椎椎間板ヘルニア原因遺伝子の最新知見、新たな診断・評価法として注目度の高いメタボローム解析に関する基礎科学、そして極めて参考となる臨床経験や興味ある症例報告なども多数掲載されている。それぞれが示唆に富む論文であり、是非ご一読ください。(戸山芳昭)

臨床整形外科 (第 46 巻第 3 号)

2011 年 3 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

2011 年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子のみ 29,400 円

冊子+電子版 38,300 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,810 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。